

事務事業名	病児・病後児保育事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課	
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G	教育・保育グループ	課長名	渡部 泰昌
	施策名	(26)子育て支援の充実	担当者名	舟木 裕子	電話番号	0854-40-1044 (内線) 2252
	目的	対 子どもの保護者と産み育てたい 意図 安心して子育てができる。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 2 項 目 中事業 中事業名 1 0 0 5 0 6	児童福祉総務管理事業 病児病後児保育事業	
	目的	対 保護者 意図 仕事と子育てを両立できる。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (21 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
事業内容 病気の回復期にあり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該児童を専用施設(だいたい病児・病後児保育室、三刀屋病後児保育室)及び保育所内(掛合保育所)で一時的に預かる事業。(看護師:常時配置、保育士:児童数に応じ配置) 利用料金:1,500円/日(食事なし1,200円/日) 対象児童:乳幼児から小学校6年生までの児童

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・業務委託契約締結、委託料支払い、委託先との協議、申込受付、決定、利用料徴収、施設維持管理 ◎だいたい病後児保育室⇒だいたい病児・病後児保育室に拡充した	元年度計画(元年度に計画する主な活動) 業務委託契約締結、委託料支払い、委託先との協議、申込受付、決定、利用料徴収、施設維持管理				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	登録児童数	人	150	135	162	170
イ	実施施設数	施設	3	3	3	3
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	病気の回復期にある乳幼児から小学校6年生までの児童とその保護者							ア
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	保護者の子育てと就労の両立を図る。							ア

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
○だいたい病児・病後児保育室 委託料(愛耕福祉会):6,759千円、その他施設管理等:443千円 ○みとや病後児保育室 委託料(社会福祉協議会):4,407千円、その他施設管理等:110千円 ○掛合病後児保育室 委託料(社会福祉協議会):1,966千円、その他施設管理等:58千円	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円	3,738	4,345	5,058	5,035
	事業費計(A)	千円	12,274	11,884	13,743	15,852
	人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B)	人 時間 千円	2 400 1,587	1 320 1,305	1 350 1,516	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,861	13,189	15,259	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
保護者の就労形態の多様化により、保育に対するニーズも多様化の傾向にある。近年の経済情勢や雇用情勢により、児童雇時の休暇所得が困難な状況にある。平成27年度から始まった子ども子育て支援新制度により、この事業に係る国基準等の改正、見直しははかられた。	保育ニーズに対応するため国規準に基づき実施している。登録児童数が増加傾向あり、大東、掛合(定員各2名)の2か所のみでは申込に対し受入が困難となることがあったため、平成27年度新たに三刀屋地区に施設を整備し(定員2名)、平成28年度より受入人数の拡大をはかっている。平成30年度から、大東の施設を病児対応型にし、サービスを拡充した。	H27年度三刀屋町内に病後児保育室を整備し、H28年度より市内3カ所で病後児保育室を開設することとなったが、H26年度に実施した子ども・子育て支援事業ニーズ調査では、「病児施設」を利用したいと思った人が約3割(28.9%)であった。「病児施設」の利用ニーズもあり、平成30年度から「だいたい病後児保育室」を「だいたい病児・病後児保育室」とし病児保育を開始し、定員も4名へ拡充した。

事務事業名	病児・病後児保育事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	------------	-----	--------	-----	--------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	平成29年度にだいたい病後児施設改修を行い受入定員を拡大した。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	利用者の負担増、子育てと就労の両立支援につながらない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 →	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由	他に類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	国の示す実施基準に基づいている、国改正による対応はある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	既に委託しており、市の監視下で実施している。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	市内すべての乳幼児から小学6年生までの児童が対象である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今までは2施設(大東、掛合)において事業実施してきたが、利用ニーズが高まる中、利用希望者すべての受入は困難な状況であったため、平成27年度に三刀屋において施設改修し、平成28年4月より三刀屋にて事業を開始した。これにより、木次、三刀屋エリアでの受入が可能となった。また、平成30年4月より、だいたい病後児保育室を病児対応とした。	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てと就労の両立するために、病児・病後児のニーズが高まっている傾向にある。</li> <li>近年では病児の受入ニーズが特に高まっている。</li> <li>H27年度中に三刀屋健康福祉センター内の一室を改修して病後児保育室を新設し、平成28年度から運営をはじめた。</li> <li>平成30年度よりだいたい病後児保育室を病児保育室とし開設し、定員を2名から4名へ拡大した。当面は住民ニーズを注視し、今後の方向性を見極めたい。</li> </ul>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		